

視察報告書

平成29年 4月11日

府中市議会議長 様

会 派 名 市民クラブ

日 時	平成28年2月6日（月曜日）
視 察 先	高知県南国市
視察項目	食育推進・公立保育所調理業務等について
参 加 者	小川敏男 水田豊 土井基司
視察内容	1. 「食育のまちづくり」推進の取り組みについて 健康づくりもかねて、食育のまちづくりということで保健福祉センターがコーディネートして、食育を精力的に進めている。新規事業ではなく、既存事業について各担当間（保育所、生涯学習課、長寿支援課、農林水産課、商工観光課、社会福祉協議会）の連携を深める形で推進している。また、食生活改善推進員や食育ボランティア・食育応援ボランティアと連携して様々な事業も行なっている。さらに精神障がい者や共同作業所の方を対象にした料理教室も開催されているなど幅広く展開されている。 2. 公立保育所給食業務について 公立保育所に関しては保育所給食を直営で維持しながら、民間保育所を含め統一献立で行なっている。また、食育保育所訪問を行ったり、食生活改善推進員と保育所との交流も活発だと説明を受けた。米どころということもあり、完全給食＝米飯も保育所で調理提供している。米飯分は別に代金を保育所ごとに徴収している。
所 感	府中市では、新しい食育推進計画を策定中だということだが、健康医療課を中心とした各担当課の連携の確立、活動の中核となる栄養士の適切な人数配置、食生活改善推進員が積極的に活躍できるような環境づくり、充分な予算措置が可能な計画の策定が必要だと感じた。

視察報告書

平成29年 4月11日

府中市議会議長 様

会 派 名 市民クラブ

日 時	平成28年2月7日（火曜日）
視 察 先	愛媛県西予市
視察項目	地域医療政策について
参 加 者	小川敏男 水田豊 土井基司
視察内容	地域医療施策について、西予市民病院と野村病院の位置づけをうかがったところ、それぞれに医療圏が異なり、その中での中核を担う病院という位置づけであった。病院体制の今後の展望としては、2病院を現状のまま維持するのは財政的に困難であり、公立病院改革ガイドラインに関する新プランの作成とともに、現在なんらかの形の再編を考え、検討を続けているとのことだった。 医師確保のため、院長が精力的に大学医局への働きかけを行ない、なんとか確保できているが、今後は、ふるさと枠を考慮しても、確保の見込みは厳しいとの説明だった。 病院の経営状況については、現状では良好だが、人口減を考えると、今後の見通しはきびしいという説明だった。
所 感	どこの地域に関しても、不採算部門を維持しなければならない地方公立病院の財政状況はきびしいが、地域医療の体制を維持するために、様々な工夫をされているのを感じた。合併により、2病院を抱えどう維持していくのか、府中市の参考になることも多くあると考えられ、今後の経緯も含め、西予市の取り組みを注視していきたい。